

NTTデータ

**Franck Muller Watchland 直営店の
新サービスをクラウド型ソリューションで構築**

NTTデータは、世界中で展開されている高級時計ブランド「Franck Muller」の日本輸入総代理店であるワールド通商が実施するポイントサービス「フランク・ミュラーウォッチランド ポイントサービス」のシステムを、同社のクラウド型販促支援ソリューション「SmarP」を活用して構築した。同ポイントサービスは2011年9月1日より開始し、NTTデータがシステムの運用を行っている。

SmarPは、NTTデータの総合クラウドサービス「BizXaaS」のアプリケーションサービスの1つで、ポイントサービス、キャンペーンサービスにより集客・販促を支援する販促ソリューションである。クラウド型での提供により、利用企業は専用のシステム設備を持つことなく必要な機能のみを選んで利用することができる。またNTTデータが提供する多機能決済端末ネットワーク「INFOX」との連携により、加盟店にすでに設置されたINFOX端末をそのまま利活用することができ、設置にかかるスペース、時間、運用等ロスの多い専用端末の設置は不要だ。その他、来店・購買等をトリガーとした「サンクスメール」、メルマガやクーポンを用いた「告知機能」、ポイントで集積した属性／行動特性の「顧客動向分析ツール」など、お客様それぞれに合ったサービスを提供するための多彩な機能をワンストップで提供する。

SmarPは、2008年6月のサービス開始以来、メディア業界、ホテル業界、流通業界等をはじめとした多数の業界で採用されている（2011年8月時点の実績計14社）。今回のフランク・ミュラーウォッチランド ポイントサービスの構築においては、これらの実績に基づくSmarPのサービスの安定性と拡張性、お客様の購買意欲を引き出すためのポイントの付与・還元処理、管理機能等が評価され、導入することとなった。

NTTデータ TEL：050-5546-9940

日本IBM

**資生堂のグローバルでの業務標準化や
迅速な意思決定を支援**

日本IBMは、資生堂のグローバル・ビジネスを支える基幹システム「グローバル情報システム」において、生産会社向け、製販会社向け、販売会社向けテンプレートの構築を支援し、上海（中国）2社での稼働を本年7月4日に開始した。さらに、これらテンプレートを、2012年1月に北京（中国）1社にて稼働開始する予定だ。

資生堂は、2017年のあるべき姿として「日本をオリジンとし、アジアを代表するグローバルプレーヤーを目指す」を掲げグローバル化を加速している。これに伴い、グローバル情報システムによって、業務の標準化や販売・会計情報を把握することにより、強固な経営基盤の確立、ビジネスのスピード・経営品質の向上といった企業競争力の強化を目指している。

グローバル情報システムは、販売・物流、会計、調達・生産といった基幹業務を支援するシステムで、SAP社の統合業務パッケージ「SAP ERP 6.0」をベースに、「OneModel」というグローバル共通のテンプレートを構築し、各地域に展開している。海外で統一したKPI（業務評価指標）を定義し、各国の情報をタイムリーに把握することで事業活動のPDCAを早期化する。また、業務を標準化することにより、コミュニケーションを円滑にするとともに、業務変革を進めている。

今回日本IBMでは、IBMがグローバルで持つSAPをベースとしたグローバル統合システム構築の豊富な実績やスキルを生かして、データ、業務プロセス、システムの標準化方針やシステム運用保守方針の策定を支援し、中国IBMおよび中国グローバル・デリバリー・センターとの協業により、グローバル情報システムの構築、展開の支援を行った。また、台北（台湾）3社の販売会社については台湾IBMが構築を支援し、本年7月4日に上海と同時に稼働を開始した。

日本IBM

<http://www-06.ibm.com/jp/press/2011/09/1301.html>

SaaS型電子チケット発行・認証サービスを エンタテインメントプラスが先行採用

NECは、セキュリティ機能搭載QRコード（以下、SQRC）を用いた電子チケットの発行・認証を実現するシステムをSaaS型で提供する「Qkeysチケット」の販売を開始した。最新技術であるSQRCを用いた電子チケットを発行し、利用者の携帯端末等に配信、利用時の本人認証や入場実績管理といった一連のシステム機能をクラウドサービスで提供するの、国内で初めてである。なおQkeysチケットは、先行的に、音楽コンサート・映画・娯楽施設等の入場券やチケット販売で国内大手であるエンタテインメントプラスでの採用が決定した。

興行界では、チケットの郵送やコンビニエンスストアでの発券が一般的だったが、近年、利用者のニーズが多様化し、発券業務の費用削減・効率化等の観点からSQRCやQRなどを用いた電子チケットが普及しつつある。その一方で、電子チケット化の実現に向けた新たなシステム導入に伴うコストや迅速性が課題となっている。NECは、このような市場動向を背景に、電子チケットの偽造防止と利便性を両立するSQRCを用いた電子チケットの今後の成長性を見据え、Qkeysチケットの商品化に至った。

NECは、Qkeysチケットについて、興行界だけでなく、様々な業界・業種における電子チケット／入場証として積極的に提案し、今後3年間で100社の導入を目指していく。Qkeysチケットの特長は、次のとおり。

◆SQRCを用いた電子チケットの発行・認証・管理をトータルにSaaS型で提供：チケットデータ（予約情報・座席情報など）をクラウド上のシステムに登録、SQRCを用いた電子チケットを発行する。また、利用者は指定されたURLにアクセスすることで、電子チケットを携帯端末に表示できる。入場時には、携帯端末に表示された電子チケットを入場端末の専用リーダーにかざすことで、チケットの正当性を判断し、瞬時に入場の可否を判別できる。

◆最短2週間で導入が可能：利用者向けに表示する電子チケット画面や入場端末から出力される半券レシートのレイアウトなど、Qkeysチケットで提供している標準機能を利用することにより、最短2週間で電子チケット入場管理業務が実現可能。

◆入場端末のローカル認証が可能：一般的に他のシステムでは、セキュリティ上の観点から、電子チケット内に格納するデータは予約番号や会員番号など一部分であるため、それ以外のデータを確認する場合はネットワークを介してサーバシステムにアクセスする必要がある。QkeysチケットではSQRCの特性を活かして、電子チケット内に入場（認証）に必要な性別や年齢などのデータを格納できるため、サーバシステムとの接続が不要となり、屋内、屋外といった場所を問わず簡単に電子チケット入場管理業務が実現できる。

NECは2010年7月、SaaS型SQRC生成サービス「Qkeys」を発売した。Qkeysは、ユーザーシステムからの発行要求に対しSQRC画像の生成を行うサービスだが、今回発売のQkeysチケットは、さらに、このSQRCを用いた電子チケットの発行から利用時の認証・入場実績管理までトータル機能を提供するサービスとして拡大したものである。



利用イメージ（入場シーン）

NEC TEL : 03-3798-8390

EMC ジャパン

レーベルゲートがビッグデータ・ストレージとして EMC アイシロンを採用

EMC ジャパンは、レーベルゲートが提供するスマートフォン向けの音楽配信サービスの楽曲保存用ストレージとして、スケールアウトNAS「EMC Isilon IQ6000x」が採用されたことを発表した。

レーベルゲートは、国内の有力なレコード会社の共同出資によって設立された音楽配信サービス専門の運営会社で、パソコン向けの音楽配信サービス「mora」、 「mora win」に加え、急速に普及しつつあるスマートフォン向けの音楽配信サービス「mora touch」を提供している。国内で最大規模を誇る配信楽曲数は、2011年8月時点で270万曲に達し、今後も楽曲データの増加が見込まれている。

EMC アイシロンスケールアウトNASを導入するまでは、同社では安価な大容量NASを必要に応じて増設していた。しかしNASの台数が増えるにつれ、ストレージ管理にかかる工数が大幅に増大した。レーベルゲートでは同社が目指す最高水準のサービス品質を達成するため、サービス無停止での容量増設、簡素化されたストレージ管理、優れたアクセス性能と可用性を持つストレージの導入を検討し、今回、EMC アイシロンスケールアウトNASを採用した。

EMC アイシロンを導入した後も、楽曲データは増加しており、現在では同社のストレージは12ノード構成（合計72TB）まで拡張されている。レーベルゲートでは、新たな楽曲が続々と登録されることから、これからも定期的にノードを追加していく計画である。また、近い将来、パソコン向けとスマートフォン向けの双方で、音楽配信サービスを支えるストレージをすべてEMC アイシロンスケールアウトNASへ完全に統合していく予定だ。

EMC ジャパン TEL : 03-5308-8888

デジタルアーツ

ソニーの「Sony Tablet」2シリーズに「i-フィルター for Consumer Electronics」を提供

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツは、ソニーが9月から11月にかけて発売を予定しているAndroid搭載のタブレットデバイス「Sony Tablet」SシリーズおよびPシリーズの2シリーズに対し、同社の家庭向けWebフィルタリングサービス「i-フィルター for Consumer Electronics」の提供を開始する。既に同社の製品が、ソニーの液晶テレビ「ブラビア」や、パーソナルコンピュータのVAIOへの搭載実績があることから、今回の新製品販売に伴い、新たに採用された。

今回、Sony Tabletに提供するi-フィルター for Consumer Electronicsは、家族で利用の際に相応しくないと考えられるサイトをブロックすることができる。また、2シリーズにおけるi-フィルター for Consumer Electronicsのサービスは、Sony Tabletの発売開始と同時に利用可能となっており、利用料金は月額で315円（税込）。製品を利用の方は、ブラウザの設定画面からi-フィルターを直接申込み、IDを取得後、i-フィルターのサービスを利用できるようになる。

今後、インターネットを閲覧することができる様々な端末の開発・普及により、「意図しないのに表示されるWebサイト」を閲覧することで犯罪に巻き込まれる可能性が予想される。デジタルアーツの考えるこうした環境の中で、安心してインターネットを楽しむため、Sony Tabletへの同社のフィルタリングサービスの採用が実現した。デジタルアーツでは、今後もソニーと協力しながら、Sony Tabletの利用者に対し、i-フィルターサービスを訴求するとともに、引き続きあらゆる状況において安全にインターネットを利用いただくために、手軽かつ快適にフィルタリングサービスを利用できる環境を提供していく。

デジタルアーツ TEL : 03-3580-3030

サイベース

虎の穴が「Sybase ASE 15」を活用して ECサイトトータルシステムを構築

サイベースは、虎の穴（本社：東京都港区）のECサイトトータルシステムが、同社のリレーショナルデータベース管理システム「Sybase Adaptive Server Enterprise 15」（Sybase ASE 15）を活用して構築されたことを発表した。

虎の穴は、漫画・玩具・個人出版物・アニメグッズの販売・通販流通ビジネスを幅広く展開する、インディーズコミック市場のリーダーである。1994年6月、秋葉原で1号店を開店以来、インディーズコミック市場を牽引し続け、現在では、全国20の店舗、通販サイト等のチャネルを通じて、7,000名を超える作家や造形・CGクリエイターの作品を、お客様にダイレクトに販売できる自社流通網を確立している。同社の主要な販売チャネルであるECサイトは、1日の平均ページビュー1,200万件、会員数100万人を超える非常に大規模なもので、会員数は毎月2万人平均で増加し続けている。その一方で、比較的小ロットな商品アイテムを膨大な種類扱っていることや、イベント開催時など特定の時期に通常の10数倍を超えるネットワークトラフィックが集中することなどから、システム負荷が非常に高く、従来のデータベースではレスポンス面およびコストパフォーマンス面で問題を抱えていた。

虎の穴では、このような問題を解決するため、サイベース製品への移行を決定した。システム・インテグレータのあまなつ（本社：東京都千代田区）の協力を受け、ECサイトに加え、基幹業務システムとなる商品管理、注文管理、集荷管理、発送管理などすべてのシステムについてSybase ASE 15を実装し、ECサイトトータルシステムと呼ばれる基幹システムを構築した。

サイベース TEL：03-5544-6200

ALSI

青森県のビジネスサービスが 「InterSafe CATS」を採用

アルプス システム インテグレーション（ALSI）は、同社のクラウド型Webフィルタリングサービス「InterSafe CATS」がビジネスサービス（本社：青森県青森市、以下KBS）の提供するインターネットサービス「JOMONインターネット」のオプションサービスとして採用され、本年9月よりサービス提供を開始することを発表した。

昨今、ウイルス・スパイウェア感染だけでなく、有害情報や不正情報サイトの閲覧による詐欺や不正プログラム感染、掲示板・SNS等への不用意な書き込みによるセキュリティ脅威も高まっている。また、社内でWebフィルタリングソフトが導入され安全な環境となっても、社外にノートパソコンなどを持ち出して利用する場合は、フィルタリングソフトによる保護が無効となってしまうため、セキュリティ脅威は高くなってしまっている。

このような背景から、KBSが運営するJOMONインターネットのオプションサービスとして、ALSIのInterSafe CATSが採用され、本年9月よりサービス提供が開始された。本サービスは、5ライセンス月額1,890円（1ライセンスあたり378円）から利用することができるため、従業員数の少ない企業や部門単位での導入にも最適だ。InterSafe CATSを導入することで、企業のパソコンを有害情報サイト・不正情報サイトから保護することができ、重要データの情報漏洩対策等、セキュリティ対策を強化することができるようになる。

InterSafe CATSは、2010年度トップシェアを獲得しているWebフィルタリングソフト「InterSafe WebFilter」のクラウド版で、社外においてインターネットを利用する際、情報漏洩や私的利用、有害サイト・詐欺サイトへのアクセス、ウイルス感染を防止することができるサービスである。

アルプス システム インテグレーション
TEL：03-5499-8043